

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2024年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2024_v1.2

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	兵庫県立いなみ野特別支援学校本	階数	地上5F
建設地	兵庫県加古郡稲美町	構造	RC造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	400人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,500時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年7月 予定	評価の実施日	2025年8月1日
敷地面積	22,403㎡	作成者	久米設計
建築面積	4,320㎡	確認日	
延床面積	13,501㎡	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ホールライフカーボン (温暖化影響チャート)

標準計算
 ①参照値 100%
 ②建築物の取組み 85%
 ③上記+②以外の 85%
 ④上記+ 85%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.9

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.0

音環境	3.0
温熱環境	2.6
光・視環境	3.4
空気環境	3.1

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.5

機能性	3.6
耐用性	3.2
対応性	3.6

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.2

生物環境	1.0
まちなみ	3.0
地域性	2.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.0

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.5

建物外皮の	4.8
自然エネ	2.0
設備システム効率化	3.8
効率的	2.2

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.5

水資源	3.4
非再生材料の	2.3
汚染物質	2.3

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.0

地球温暖化	3.5
地域環境	2.5
周辺環境	3.1

3 設計上の配慮事項		
総合 現地建て替えという制限がある中、隣地緑地という特性を活かし、西側に中庭を開く校舎配置としている。普通教室は南面させている。	その他 特になし	
Q1 室内環境 原則南面教室配置、普通教室片側廊下の構成により、採光、通風が可能な計画としている。RC造、適切なボード壁により、音に対する配慮も適切に行っている。	Q2 サービス性能 先生のサポートが重要な特別支援学校として、中央2階の職員室を起点に、2つの棟の各階教室に容易にアクセス可能な計画としている。バス9台の乗降場には、大きく庇をかけ、日々の登下校に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 学校の第一の要望である中庭を大きくとり、西側の隣地緑地に開き、中庭と視覚的に連続させている。
LR1 エネルギー 建築外皮の断熱性能を適切に持たせている。屋上に関しても、断熱性能を確保している。	LR2 資源・マテリアル 節水タイプのWCの採用など、特別支援学校の運営に支障のない範囲で、環境に配慮している。	LR3 敷地外環境 いなみの特別支援学校ならではの事情(登下校時のバスおよび送迎車が多い点)に配慮し、大きく車まわしスペースを確保している。光害対策ガイドラインのチェックリストの過半を満たし、広告物照明を行っていない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。
 ■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される